

水道事業の防災対策を紹介します



配水管の耐震化

- 継手部分が大きく屈曲・伸縮し、管の離脱を防ぎます
- 地震による地盤沈下や亀裂などの変化に対応します



配水池の更新工事

- 施設被害を軽減します
- 緊急遮断弁により、大規模な漏水を防ぎます



防災倉庫の建設

- 市内の5カ所に防災倉庫の建設を予定し、照明器具、発電機、給水容器などの整備を計画的に進めています。



応急給水活動の実施

- 専用の給水車のほか、トラックの荷台に載せる給水タンクも配備を進めています。
- 水道局と管工事組合が連携して実施します。



支援連絡管の運用

- 市境の水道管を緊急時に開放し、隣接する市同士で水を融通し合います。
- 豊田市、安城市、幸田町、西尾市と協定を結んで非常時に備えています。



広域的な協力体制の構築

- 災害時には岡崎市だけでなく、県内や県外からの応援を求め、復旧活動を行う必要があります。そのため、定期的に各自治体と連携して訓練を実施し、日頃から協力体制を整えています。（豊田市での訓練風景）